

CINEX Web Journal



第11号

発行日 2023年6月1日

★ 小学校英語教科化に伴う CLIL 型 Web 教材の開発

— フラッグフットボールとの連携 —

赤堀 憲吾

小学校英語教科化に伴う CLIL 型 Web 教材の開発

— フラッグフットボールとの連携 —

静岡県立掛川東高等学校 赤堀憲吾

2020年4月より小学校5・6年生を対象に「外国語」の教科化が始まり、4技能（聴く・話す・読む・書く）のバランスが取れた英語教育および英語学習環境の確立が問われることとなった。これまでは楽しく活動していた「外国語活動（英語）」が、テストも実施されるようになり、負担感や苦手意識を持つ児童も増えてきたという声を聞くようになった。

小学校 5 年生の段階で、習い事等により英語を学んできた児童と、そうでない児童とで、「外国語」の能力や取り組み状況も変わってしまうことから、その溝を埋める一つの方法として、自律的に学習動機をつけ、学習成果を獲得させる学習媒体としての「英語学習用 Web 教材」が有用ではないかと考えた。教材を開発するにあたり、「楽しく学びながら 4 技能を習熟できる要素」を取り入れるためにはどうすればよいか逡巡した結果、「体育と連携した CLIL 型（Content and Language Integrated Learning：他教科連携）教材」に辿り着いた。

今回「フラッグフットボール」を教材のベースにしたのは、戦術面でのメンバー間のコミュニケーションが重要な要素を占め、なおかつ小学校において積極的に推奨されているスポーツ、というところに着目したからだ。「自己紹介」、「ポジションの決定」、「試合開始（相手への挨拶）」、「作戦タイム」、「攻撃開始」、「作戦成功」、「試合終了」といった一連のプロセスに英語学習を絡めることで大いに成果が期待できるものと考え、約 2 年間の研究開発期間を経て、Web 教材の完成までこぎ着けることができた。

本来であれば完成した Web 教材を試してもらうために直接小学校へ足を運び、児童たちの生の声を聞いたかったところであるが、残念ながらコロナ禍で実現することができなかった。代わりに、Web 教材の操作画面を動画にまとめたものを用意し、それを視聴してもらった感想をアンケート調査でまとめることとした。今回の調査結果で最も興味深かったのは、児童たちの 75% が「オンラインゲームと学習との有効性」に肯定的な意見を持っていた点だ。Web 教材が児童たちの英語学習に内発的に動機づけられる可能性を確信することができたので、今は実際に体験してもらえる機会を伺いつつ、問題解決に向けてこの取り組みを続けていきたいと考えている。

